

=====

STBJニュースレター (NO. 13)

=====

平素より、ストップ結核パートナーシップ日本にご理解、ご協力頂きまして有難うございます。  
本年も宜しくお願い申し上げます。

STBJでは、個人会員の皆様とのコミュニケーションを活発にしていきたいと考えております。  
メールアドレスをお持ちの皆様にSTBJの活動をニュースレターとしてご紹介させて頂いています。

■□■□■□■□■□■□■□

2012年9月～10月

STBJ活動報告

■□■□■□■□■□■□■□

【2012年10月11日】

**IMF・世銀年次総会 CSO フォーラムの開催**

STBJ主催で、“「結核国際研修」を事例として国際保健人材育成のこれから”をテーマに東京国際フォーラム（Dホール1）でセミナーを開催しました。  
50周年を迎えた結核研究所の結核国際研修を事例に、外務省、JICAなどを中心に活発な議論が展開されました。

座長： 森 亨 ストップ結核パートナーシップ日本代表理事

基調講演： 島尾忠男 公益財団法人結核予防会顧問

シンポジスト：

下内 昭 結核研究所 副所長

小沼 士郎 外務省国際協力局国際保健政策室長

丸井 英二 人間総合科学大学教授

Richard D' Meza Former Director, National Tuberculosis Control Programme

Ministry of Public Health and Population The Republic of Haiti

【2012年10月12日】

**IMF・世銀年次総会 CSO フォーラムの参加**

日本の国際保健NGOのワーキンググループの一つとしてセミナーに参加しました。東京国際フォーラム（701号室）。

今回の主要議題である「国際保健」から①「保健への投資：誰のために」と②「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ：定義、目的、達成手段」の二つのセミナーが NGO の視点から行われました。

#### セミナー①パネリスト

ニコール・クリンゲン 世界銀行 人間開発ネットワーク 保健・栄養・人口局長代行  
サムソン・キロンデ ウガンダ保健システム・アクション・ネットワーク共同議長  
エリザベス・スチュアート オックスファム・インターナショナル  
ワシントン DC 事務所長

#### モデレーター

道傳愛子 NHK 解説委員

#### セミナー②パネリスト

ロブ・イエイツ 世界保健機構 (WHO) シニア保健エコノミスト  
ジョン・マハマ ガーナ・ピープルズ・ヘルス・ムーブメント コーディネーター  
古知 新 コンサルタント、前 WHO ストップ結核・HIV/AIDS・マラリア  
プログラムディレクター  
サイモン・ライト セーブ・ザ・チルドレン UK チャイルド・サバイバル部長

#### モデレーター

稲場雅紀 アフリカ日本協議会 プログラム・コーディネーター  
「動く→動かす」事務局長

#### =啓発活動=

【2012年9月20日】

#### 記者発表（プレスリリース）

「～結核予防週間に向けて～ 国内外の結核事情と結核対策の革新」

場所：厚生労働記者会見室

結核研究所所長の石川先生や STBJ の代表理事により国内・世界の結核の現状を伝えた他、結核対策の革新として大塚製薬（株）から“新規抗結核薬のデラマニド”について、栄研化学（株）から“国産技術「LAMP 法」が生会の結核菌検査を変える”についての報告がありました。今回は 7-8 名程度の記者が集まり、今後の動向についていくつか質問がありました。

**【2012年10月6-7日】**

**グローバル・フェスタ 2012 展示**

場所：日比谷公園

公益財団法人結核予防会とともに出展しました。

来場者に結核について広く知ってもらう為に

パンフレットなどを配布し、来場者に説明しました。

今回は、STBJの会員である上村康幸さんにお手伝い頂きました！

**【2011年10月24-25日】**

**第71回日本公衆衛生学会 展示および発表**

結核研究所とともに展示、啓発活動を行ったほか、

田中事務局長が「4年間の潜在結核治療の実態と管理」

を発表しました。

**=外部会議への参加=**

**【2011年10月4日】**

**ストップ・アクションプラン/フォローアップ会合の開催**

外務省、厚生労働省、JICA、結核予防会、STBJ

によって活動の報告が行われました。

支援の焦点が感染症対策から保健システムや制度

に向けられる流れから、二国間協力は減少しています。

アクションプラン達成のため今後の対策は必要です。

**【2011年10月4日】**

**第105回 GII/IDIに関する外務省/NGO 懇談会**

外務省中央 669号室

1. アジア・パシフィック・デベロップメント・サミット

(JICA) 小林尚行 人間開発部次長兼グループ長

地域間のネットワークの強化と官民連携の促進を目的に、

9月3-5日にジャカルタで開催。インドネシア政府、ビル・ゲイツ財団、

ASEAN財団主催。

インドネシアは、現在もMDG'に取り組んでおり、

貧困者対策として社会健康保険制度を確立し、患者数を300%増加した。

妊産婦に対する産前産後ケアも無料とし、UHC の取り組みによって  
2017 年には国民の 70%、2019 年には 100%カバーを目指す。

2. 国連総会における保健

(外務省) 小沼士郎 国際協力局国シア保健政策室長

3. 平成 25 年度概算要求

(外務省) 大場雄一 国際協力局政策課企画官

4. 第 19 回国際エイズ会議報告及び日本のエイズ対策支援の方向性

(NGO) 稲場雅紀 アフリカ日本協議会 国際保健部門 チーフ・プログラム・オフィサー

(外務省) 尾崎さくら 国際協力局国際保健政策室 事務官

(JICA) 小森正勝 人間開発部保健第一グループ保健第二課長

山田純子 人間開発部保健第一グループ保健第二課コンサルタント

**=その他=**

**【2012 年 10 月 10 日】**

**保険修士会総会での募金活動**

保険修士会の総会にて、STBJ の活動報告をし、  
募金活動を行いました。募金は、¥7,300.-集まりました。

-----\*\*\*☆-----\*\*-----\*-----\*\*\*☆☆--\*☆-----\*\*☆

※このニュースレターの配信を希望されない方は

下記メールアドレスまでお知らせくださいませ。

[kaiin@stoptb.jp](mailto:kaiin@stoptb.jp)

(担当 宮本/下谷)

-----\*\*\*☆-----\*\*-----\*-----\*\*\*☆☆--\*☆-----\*\*☆